

空き家を探しています



実家が空き家になって、
このまま人が住まないと
すぐ傷んでしまうし・・・
目が届かないので
いろいろと心配だなあ。



小学校も児童がどんどん減っているし
子供のいる家族に地域に住んでもらえると
にぎやかになっていいなあ。

近所の空き家は、所有者が
遠方に引っ越してしまっただけ
家が売買され見知らぬ人が住みはじめて
地域のコミュニケーションがとれなくなると困るなあ。



この地域も高齢者ばかりになってしまい
将来どうなっちゃうんだろう・・・
だれか若い人に住んで
もらえるといいわねえ。

空き家の面倒や周りの草刈りが
年々大変になってきて・・・
だれか面倒見てくれると
たすかるわねえ。



知り合いが古い家を
解体したらしいけど
200万円もかかったんだって・・・
出来ればうちは壊したくないなあ。

こんな人達が空き家の情報を必要としています。

- 里山に移住して子供を自然の中でのびのび育てたい。
- 自分達の食べる野菜やお米を作り、農的な暮らしをしたい。
- 古くても自分たちでリフォームして暮らすのが夢。
- 里山に住み、自然環境の保全のために貢献したい。
- 自分の特技を生かし起業して、地域の活性化に役立ちたい。
- 都会生活にはない、地域の人との交流や助け合う生活がしたい。



お気軽に、ご相談・ご連絡ください。 ☎ 0573-56-3921

NPOまちづくり山岡 交流・定住環境づくり事業委員会 まで

空き家を活用させてください。

現在、誰も住んでいない、又は年に数回しか使わないようなお家はありますか。空き家を放置するとどうなるでしょう。不思議なことに人が住まなくなった家は、急速に老朽化し、数年で廃屋になりかねません。こうなると、売ったり貸したりすることも難しくなり、放置され倒壊の危険が出たり、場合によっては犯罪の温床になってしまったりする可能性すらあります。解体しようにも、かなりのお金がかかりますし、周辺の草刈や環境整備もしなければなりません。

そこで、皆様にご相談です。

時代は変化し、様々な生き方が認められるようになってきました。その生き方のひとつとして、物質的な豊かさより精神的な豊かさを求めて、都会から田舎への生活を模索している人たちが増えています。ただ残念なことに、受け入れる側の体制ができていません。その体制の不備のひとつに「住む場所」が見つからないということがあります。

移住を希望する人たちとは・・・

彼らは、新しい家や生活に便利な場所を求めてくるものではありません。むしろ古い家でも自分たちで修繕したり、不便な場所でも自分たちで何とかしようとする考え方を持っています。すでに山岡町内でも何人かの人たちが移住していますが、地域の人たちとの関係も良好で地域活性化に一役買っている人も少なくありません。

空き家を使わせていただくことによって・・・

- 人口がどんどん減っている現状を少しでも食い止め、地域の自治活動を守ることができます。
(*山岡町は、平成8年に5,756人だった人口は、平成22年には4,893人と減少しています)
- 空き家の補修と周辺の草刈等を任せることができます。(補修には恵那市の補助金も使えることがあります)
- 新しい風を入れることによって、地域が活性化します。

皆さんが、ご心配すること・・・

変な人が入ってきたら困る。地域のつきあいができるのか。金銭的なトラブルはないのか等々・・・。
これらの心配事に対応して、NPOまちづくり山岡 交流・定住環境づくり事業委員会が仲介役になります。

空家活用のすすめ方は

- ① 売買や賃貸していただける家を下見して情報をそろえます。
- ② 恵那市の空き家バンク等に登録して、移住希望者を募ります。
- ③ 移住希望者に対し、NPOが直接面接し地域のルールなどを理解していただきます。
- ④ 移住希望者の情報を元に、NPOと売主さん・貸主さん・区長さん・自治会長さんと相談し、受け入れを決定します。
- ⑤ 売買価格や家賃など双方の希望を聞き入れながら、調整します。(決定まで直接交渉は不要です。)
- ⑥ 移住後は、区長さん・自治会長さんにもご協力をいただき地域の仲間入りを助けます。



まずは、NPOまちづくり山岡 交流・定住環境づくり事業委員会にご相談ください。

相談したからといって、必ずしも空き家を売ったり貸したりしなくても結構です。
相談内容は、個人情報として保護いたします。皆様のご協力で、より住みよい山岡を作りましょう。